

下土棚遊水地上部利用計画（案）について

【A 池】

- ・活動グラウンドは土なので、今後は土埃対策について考えてほしい。
- ・土埃対策やグラウンドの管理方法等はここを有料にするか、無料にするかでも変わってくるのではないかと。
A 池は誰でも自由に利用できる広場をイメージしており、活動グラウンド等の有料化は想定していない。土だけのグラウンドなのか、細かな砂利を敷くのか等、土埃対策を含め今後考えなければならないと思っている。
- ・A 池には湘南台大橋があり、そこを歩いてアクセスする車が多いと思われるため、階段の位置を橋の近くに移動させた方が良いのではないかと。
階段の位置を修正する。

【B 池】

- ・境川遊水地は、鳥が 78 種類、魚が 20 種類、花が 29 種類あるそうである。下土棚遊水地はどれくらいになるのか。
- ・境川水系と引地川水系では種類数はほとんど変わらない。下土棚遊水地の B 池は、境川遊水地よりも規模が小さいが水際に近づけるので、植物を近くで観察できる場所になるのではないかとと思う。
- ・水遊び池の底部は泥か。
泥ではなく、コンクリートで固めて砂利石をのせるイメージ。タイル張りは子供が滑って転ぶため避けたい。
- ・ピオトープ池は、越流時に入る河川水が常時貯まっているのか。
越流すれば河川水も貯まるが、平常時は遊水地の外側にある地下水を利用して池の水を徐々に入れ替えることを想定している。

【C 池】

- ・少年野球等として使用する部分以外も土なのか。
住宅が近接しているので、土埃対策として、法面と野球グラウンドの間などの土でなくてもよい部分は草とするなど、植栽についても考えていくことになると思う。
- ・サッカーゴールやバックネットなどは常設しておくのか。入れ替えるのであれば、どこに保管しておくのか、設備を置く場所を確保する必要があるのではないかと。
平常時は常設し、引地川の増水時には移動させることになる。仮置きするスペースは今後検討していきたい。

【D 池】

- ・花壇は遊水地の中には設置しないということだが、どこか別のところに作るのか。管理はどうするのか。
上部利用計画においては、あえて遊水地の中に花壇を設置する考えはない、という意味である。

【その他】

- ・全体的に、トイレの数が多いと思う。管理費もかかるので全ての池に設置しなくてもよいと思う。
今後、利用者数等を試算してどこにどの大きさのトイレを設置するかを考えることになると思う。
- ・池同士が大きな道路に区切られているものもあるが、横断歩道や信号はあるのか。無ければ、新設するのか。
今後、外周道路も含め、警察等とも協議しながら検討していくことになる。
- ・鷹匠橋は移設するのか。
下流側に架け替え、河川管理用通路として使用する予定である。
- ・A 池が最初にできるのか。
まずは A 池を遊水地として供用させるため、工事も A 池を集中的に進めている。A 池は、平成 27 年度末に遊水地としての機能を発揮できるような形を目指している。

下土棚遊水地管理区分（案）について

- ・境川遊水地や大庭遊水地なども、同じような管理区分なのか。

境川遊水地は遊水地の上部を県立都市公園として整備管理しているので下土棚遊水地とは異なる。この資料は大庭遊水地の管理区分を参考にしてまとめている。様々な団体等との連携はあくまで（案）であり、こういう連携が考えられるようなポテンシャルを持っている、と捉えてもらえればよい。実際に上部利用が行われるのはまだまだ先で、連携についても管理主体が決まってからの話だが、施設ができる前から色々な団体等へアプローチして理解や関心を得たほうが、よりよい上部利用空間になるだろう。

- ・管理棟予定地があるが、ここが上部利用の窓口になるのか。

この管理棟は河川施設の設備等のための建物だが、未買収地もあるため大きさは未定である。上部利用の窓口等が併設できるかについては今後の検討となる。

その他

3月にアドバイザー会議を開催し、上部利用計画（案）へのアドバイスをもらう予定である。そのアドバイザー会議の報告なども行いたいので、来年度も引き続き地域懇談会を開催したいと考えている。その際のご協力願いたい。

- ・承知した。

以上